



クレデンシャル Astra Automation

NetApp
May 23, 2026

目次

クレデンシャル	1
Astra API (ACS) クレデンシャルエンドポイント	1
新しいクレデンシャルを作成	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	6
応答	9
応答	10
応答	11
応答	11
エラー	12
用語の意味	12
すべての認証情報を一覧表示します	14
パラメータ	14
応答	16
応答	17
応答	18
エラー	18
用語の意味	19
クレデンシャルを取得する	25
パラメータ	25
応答	25
応答	29
応答	30
応答	31
エラー	31
用語の意味	32
認証情報を変更する	33
パラメータ	33
要求の本文	34
応答	38
応答	38
応答	38
応答	39
応答	39
応答	40
応答	40
応答	41
エラー	42

用語の意味	42
クレデンシャルを削除する	44
パラメータ	44
応答	44
応答	44
応答	45
応答	46
エラー	46
用語の意味	47

クレデンシャル

Astra API (ACS) クレデンシャルエンドポイント

Credential APIは、機密情報を含むオブジェクトを安全に永続化するためのアクセスを提供します。

新しいクレデンシャルを作成

POST /accounts/{account_id}/core/v1/credentials

作成する Credential API リソースの希望する値を指定します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}

要求の本文

作成する Credential API リソースの希望する値を指定します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです: • "application/astra-credential"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです: • "1.0" • "1.1"

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	<p>ユーザーが指定した名前を含むJSON文字列。ユーザーに対してクレデンシャルが作成されると、名前はそのユーザーのUUIDに設定されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none">• 最小長さ：1• 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
keyType	string	False	<p>keyStoreの内容のオプションのユーザー指定データ検証タイプ記述子を含む JSON 文字列。拡張更新制約：</p> <ul style="list-style-type: none"> • keyTypeがリソースに存在せず、更新でも指定されていない場合、keyTypeは更新されたリソースに存在し続けてはなりません。 • keyTypeがリソースに存在せず、更新で指定されている場合、keyTypeをリソースに追加し、検証を実行する必要があります。検証に失敗した場合、更新は失敗します。 • もしkeyTypeがリソース内に存在し、更新で指定されていない場合、keyTypeを保存しなければならない。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと一致する場合、keyTypeを保持する必要があります。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと異なる場合、更新は失敗します。定義された値は次のとおりです： • 「generic」 - 認証情報は汎用的なデータの集合です。これは、keyTypeを含めないことと同等です。 <p>拡張検証は以下のよう に実施されます：</p>

Name	を入力します	必須	説明
keyStore	"keyStore"	True	<p>JSON文字列を含むJSONオブジェクト。keyStore内の各文字列は、クレデンシヤルの一部を表します。各文字列の名前はクレデンシヤルの一部を表し、対応するキー値には、そのクレデンシヤルの一部の値がbase64形式で格納されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • base64 Encoded Data Schemaに準拠しています。文字列の長さに制限はありません。
有効	string	False	<p>認証情報が有効かどうかを示すJSON文字列。省略した場合のデフォルト値は「true」です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「true」 - この認証情報は使用可能です。 • 「false」 - この認証情報は使用してはなりません。
validFromTimestamp	string	False	<p>認証情報が有効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

- パスワードはハッシュ値として保存されます。
- 「変更」文字列は、keyStore内に存在する必要があり、値にはbase64エンコードされた文字列「true」または「false」が含まれます。

Name	を入力します	必須	説明
validUntilTimestamp	string	False	<p>認証情報が無効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update_date"	False	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

含まれている必要があります。

リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-credential",
  "version": "1.1",
  "name": "myCert",
  "keyStore": {
    "privKey": "SGkh",
    "pubKey": "VGhpcyBpcyBhbiBleGFtcGxlLg=="
  }
}
```

- 「証明書」文字列は、keyStore内に存在する必要があり、値にはbase64エンコードされたPEM証明書が含まれます。

応答

Status: 201, Returns the newly created credential resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none">• "application/astra-credential"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none">• "1.0"• "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none">• UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	ユーザーが指定した名前を含むJSON文字列。ユーザーに対してクレデンシャルが作成されると、名前はそのユーザーのUUIDに設定されます。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none">• 最小長さ：1• 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
keyType	string	False	<p>keyStoreの内容のオプションのユーザー指定データ検証タイプ記述子を含む JSON 文字列。拡張更新制約：</p> <ul style="list-style-type: none"> • keyTypeがリソースに存在せず、更新でも指定されていない場合、keyTypeは更新されたリソースに存在し続けてはなりません。 • keyTypeがリソースに存在せず、更新で指定されている場合、keyTypeをリソースに追加し、検証を実行する必要があります。検証に失敗した場合、更新は失敗します。 • もしkeyTypeがリソース内に存在し、更新で指定されていない場合、keyTypeを保存しなければならない。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと一致する場合、keyTypeを保持する必要があります。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと異なる場合、更新は失敗します。定義された値は次のとおりです： • 「generic」 - 認証情報は汎用的なデータの集合です。これは、keyTypeを含めないことと同等です。 <p>拡張検証は以下のよう に実施されます：</p>

Name	を入力します	必須	説明
有効	string	True	<p>認証情報が有効かどうかを示すJSON文字列。省略した場合のデフォルト値は「true」です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「true」 - この認証情報は使用可能です。 • 「false」 - この認証情報は使用してはなりません。
validFromTimestamp	string	False	<p>認証情報が有効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
validUntilTimestamp	string	False	<p>認証情報が無効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

ワードが含まれます：

- パスワードの平文は、アカウントのパスワードポリシーに準拠する必要があります。
- パスワードはハッシュ値として保存されます。
- 「変更」文字列は、keyStore内に存在する必要があり、値にはbase64エンコードされた文字列「true」または「false」が含まれます。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

デシマル
はkubeconfigです。

回答例

```
{
  "type": "application/astra-credential",
  "version": "1.1",
  "id": "58e26f6a-a631-5122-8e0e-7afe306675c0",
  "name": "myCert",
  "valid": "true",
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

- 「certificate」 - 認証情報はPEMエンコードされた証明書です

```
Status: 401, Unauthorized
```

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

- 「証明書」 - 文字列はbase64エンコードされたPEM証明書が含まれます。

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

づに実施されます。

回答例

- 「privkey」文字列

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

- 拡張検証は以下のよう
に実施されます：

Status: 400, Bad request

キーを含む値を持

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

keyStore

JSON文字列を含むJSONオブジェクト。keyStore内の各文字列は、クレデンシャルの一部を表します。各文字列の名前はクレデンシャルの一部を表し、対応するキー値には、そのクレデンシャルの一部の値がbase64形式で格納されます。定義された値は次のとおりです：

- base64 Encoded Data Schemaに準拠しています。文字列の長さに制限はありません。

文字列から文字列へのハッシュマッピング

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

すべての認証情報を一覧表示します

GET /accounts/{account_id}/core/v1/credentials

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
続行		query	False	リストの表示を再開するトークンを示します。 URLの例 : <code>"continue=<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue></code> OpenAPIの例 : <code>"<continue token="" from="" collection="" metadata="">"</continue>&lt;/continue&gt;</code>

Name	を入力します	入力	必須	説明
フィルタ	string	query	False	<p>コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。</p> <p>サポートされているオペレータは次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 <p>URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27"</p> <p>OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」</p>
含める	string	query	False	<p>コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。</p> <p>URLの例 ： "include=id"、 "include=id,name"</p> <p>OpenAPI の例： "id"</p> <ul style="list-style-type: none"> • 例： id、 name
制限（ Limit ）	string	query	False	<p>コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。</p> <p>URLの例： "limit=2"</p> <p>OpenAPI の例： "2"</p>

Name	を入力します	入力	必須	説明
OrderBy	string	query	False	<p>コレクションを一覧表示する際の、リソースの並び順を示します。</p> <p>URLの例 : "orderBy=name" 、 "orderBy=name%20desc"</p> <p>OpenAPI の例 : "name desc"</p>

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : " credential_1.1_get_response_body "、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

回答例

```
{
  "type": "application/astra-credentials",
  "version": "1.1",
  "items": [
    [
      "f97f3441-075e-4f9b-9d1e-47f9f62a3fc4",
      "myCert"
    ],
    [
      "5e365b4d-034f-4f13-95ef-d3a7fbc0df3d",
      "kubeconfig"
    ],
    [
      "11ceb350-1999-4b79-80a6-46a980a27856",
      "password"
    ]
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

```
Status: 401, Unauthorized
```

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

credential_1.1_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> • "application/astra-credential"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> • "1.0" • "1.1"

Name	を入力します	必須	説明
ID	string	True	<p>リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	<p>ユーザーが指定した名前を含むJSON文字列。ユーザーに対してクレデンシャルが作成されると、名前はそのユーザーのUUIDに設定されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
keyType	string	False	<p>keyStoreの内容のオプションのユーザー指定データ検証タイプ記述子を含む JSON 文字列。拡張更新制約：</p> <ul style="list-style-type: none"> • keyTypeがリソースに存在せず、更新でも指定されていない場合、keyTypeは更新されたリソースに存在し続けてはなりません。 • keyTypeがリソースに存在せず、更新で指定されている場合、keyTypeをリソースに追加し、検証を実行する必要があります。検証に失敗した場合、更新は失敗します。 • もしkeyTypeがリソース内に存在し、更新で指定されていない場合、keyTypeを保存しなければならない。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと一致する場合、keyTypeを保持する必要があります。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと異なる場合、更新は失敗します。定義された値は次のとおりです： • 「generic」 - 認証情報は汎用的なデータの集合です。これは、keyTypeを含めないことと同等です。 <p>拡張検証は以下のよう に実施されます：</p>

Name	を入力します	必須	説明
有効	string	True	<p>認証情報が有効かどうかを示すJSON文字列。省略した場合のデフォルト値は「true」です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> 「true」 - この認証情報は使用可能です。 「false」 - この認証情報は使用してはなりません。
validFromTimestamp	string	False	<p>認証情報が有効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されません。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
validUntilTimestamp	string	False	<p>認証情報が無効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されません。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

スワードが含まれます：

- パスワードの平文は、アカウントのパスワードポリシーに準拠する必要があります。
- パスワードはハッシュ値として保存されます。
- 「変更」文字列は、keyStore内に存在する必要があり、値にはbase64エンコードされた文字列「true」または「false」が含まれ

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： <ul style="list-style-type: none"> Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

「kubecfg」ファイル
レディショナル
はkubecfgです。

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

kubecfg ファイル
には、単一のクラス
ターのみを記述する
必要がなければな
りません。

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

• 拡張検証は以下のよう
に実施されます：

• 「証明書」文字列
は、keyStore内に存
在する必要があり、
値にはbase64エンコ
ードされたPEM証明

クレデンシャルを取得する

GET /accounts/{account_id}/core/v1/credentials/{credential_id}

JSON レスポンスボディに格納された Credential API リソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
credential_id	string	path (パス)	True	リストする認証情報コレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored Credential API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです: • "application/astra-credential"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです: • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです: • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	<p>ユーザーが指定した名前を含むJSON文字列。ユーザーに対してクレデンシャルが作成されると、名前はそのユーザーのUUIDに設定されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

ンコードされたPEM秘密鍵が含まれます。

- 「s3」 - 認証情報がSimple Storage Service (S3) アクセス用であることを示します。
- 拡張検証は以下のよう
に実施されます：
- 「accessKey」文字列は、Base64エンコードされたS3アクセスキーを含む値を持つkeyStore内に存在する必要があります。
- 「accessSecret」文字列は、Base64エンコードされたS3アクセスシークレットを含む値を持つkeyStore内に存在する必要があります。

Name	を入力します	必須	説明
keyType	string	False	<p>keyStoreの内容のオプションのユーザー指定データ検証タイプ記述子を含む JSON 文字列。拡張更新制約：</p> <ul style="list-style-type: none"> • keyTypeがリソースに存在せず、更新でも指定されていない場合、keyTypeは更新されたリソースに存在し続けてはなりません。 • keyTypeがリソースに存在せず、更新で指定されている場合、keyTypeをリソースに追加し、検証を実行する必要があります。検証に失敗した場合、更新は失敗します。 • もしkeyTypeがリソース内に存在し、更新で指定されていない場合、keyTypeを保存しなければならない。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと一致する場合、keyTypeを保持する必要があります。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと異なる場合、更新は失敗します。定義された値は次のとおりです： • 「generic」 - 認証情報は汎用的なデータの集合です。これは、keyTypeを含めないことと同等です。 <p>拡張検証は以下のよう に実施されます：</p>

Name	を入力します	必須	説明
有効	string	True	<p>認証情報が有効かどうかを示すJSON文字列。省略した場合のデフォルト値は「true」です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「true」 - この認証情報は使用可能です。 • 「false」 - この認証情報は使用してはなりません。
validFromTimestamp	string	False	<p>認証情報が有効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
validUntilTimestamp	string	False	<p>認証情報が無効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

ワードが含まれます：

- パスワードの平文は、アカウントのパスワードポリシーに準拠する必要があります。
- パスワードはハッシュ値として保存されます。
- 「変更」文字列は、keyStore内に存在する必要があり、値にはbase64エンコードされた文字列「true」または「false」が含まれます。

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

デシマル
はkubeconfigです。

回答例

```
{
  "type": "application/astra-credential",
  "version": "1.1",
  "id": "58e26f6a-a631-5122-8e0e-7afe306675c0",
  "name": "myCert",
  "valid": "true",
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

- 「certificate」 - 認証情報はPEMエンコードされた証明書です

```
Status: 401, Unauthorized
```

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	

「証明書」 - 文字列
ドされたPEM証明書
が含まれます。

Name	を入力します	必須	説明
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

づに実施されます。

回答例

- 「privkey」文字列

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

- 拡張検証は以下のよう
に実施されます：

Status: 400, Bad request

キーを含む値を持

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータ のリスト

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't
found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

認証情報を変更する

PUT /accounts/{account_id}/core/v1/credentials/{credential_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
credential_id	string	path (パス)	True	リストする認証情報コレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです: • "application/astra-credential"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです: • "1.0" • "1.1"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです: • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	ユーザーが指定した名前を含むJSON文字列。ユーザーに対してクレデンシャルが作成されると、名前はそのユーザーのUUIDに設定されます。定義された値は次のとおりです: • 最小長さ: 1 • 最大長さ: 127

Name	を入力します	必須	説明
keyType	string	False	<p>keyStoreの内容のオプションのユーザー指定データ検証タイプ記述子を含む JSON 文字列。拡張更新制約：</p> <ul style="list-style-type: none"> • keyTypeがリソースに存在せず、更新でも指定されていない場合、keyTypeは更新されたリソースに存在し続けてはなりません。 • keyTypeがリソースに存在せず、更新で指定されている場合、keyTypeをリソースに追加し、検証を実行する必要があります。検証に失敗した場合、更新は失敗します。 • もしkeyTypeがリソース内に存在し、更新で指定されていない場合、keyTypeを保存しなければならない。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと一致する場合、keyTypeを保持する必要があります。 • keyTypeがリソース内に存在し、更新で指定され、指定されたkeyTypeが既存のkeyTypeと異なる場合、更新は失敗します。定義された値は次のとおりです： • 「generic」 - 認証情報は汎用的なデータの集合です。これは、keyTypeを含めないことと同等です。 <p>拡張検証は以下のよう に実施されます：</p>

Name	を入力します	必須	説明
keyStore	"keyStore"	True	<p>JSON文字列を含むJSONオブジェクト。keyStore内の各文字列は、クレデンシヤルの一部を表します。各文字列の名前はクレデンシヤルの一部を表し、対応するキー値には、そのクレデンシヤルの一部の値がbase64形式で格納されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • base64 Encoded Data Schemaに準拠しています。文字列の長さに制限はありません。
有効	string	False	<p>認証情報が有効かどうかを示すJSON文字列。省略した場合のデフォルト値は「true」です。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「true」 - この認証情報は使用可能です。 • 「false」 - この認証情報は使用してはなりません。
validFromTimestamp	string	False	<p>認証情報が有効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ISO-8601 Date Time Schemaに準拠

- パスワードはハッシュ値として保存されます。
- 「変更」文字列は、keyStore内に存在する必要があり、値にはbase64エンコードされた文字列「true」または「false」が含まれます。

Name	を入力します	必須	説明
validUntilTimestamp	string	False	<p>認証情報が無効になった日時を示すタイムスタンプを含むJSON文字列。これらは資格情報のローテーションに使用されます。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO-8601 Date Time Schemaに準拠
メタデータ	"type_astra_metadata_update_date"	False	<p>リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：</p> <ul style="list-style-type: none"> Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されません。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

含まれている必要があります。

リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-credential",
  "version": "1.1",
  "name": "oldCert",
  "keyStore": {
    "privKey": "SGkh",
    "pubKey": "VGhpcyBpcyBhbiBleGFtcGxlLg=="
  }
}
```

- 「証明書」文字列は、keyStore内に存在する必要があり、値にはbase64エンコードされたPEM証明書が含まれます。

応答

Status: 204, Indicates if the credential resource was updated.

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 406, Not acceptable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/32",
  "title": "Unsupported content type",
  "detail": "The response can't be returned in the requested format.",
  "status": "406"
}
```

の値にはbase64エンコードされたPEM秘密鍵が含まれます。

応答

Status: 500, Internal server error

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

る必要があります。

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/34",
  "title": "Internal server error",
  "detail": "The server was unable to process this request.",
  "status": "500"
}
```

• 「AccessSecret」立

応答

Status: 412, Precondition failed

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/38",
  "title": "Precondition not met",
  "detail": "The conditional headers aren't satisfied.",
  "status": "412"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/39",
  "title": "Credential exists",
  "detail": "A credential of this type already exists.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 502, Bad gateway

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/40",
  "title": "Communication failed",
  "detail": "Communication wasn't made with downstream services.",
  "status": "502"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

エラー

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/7",
  "title": "Invalid JSON payload",
  "detail": "The request body is not valid JSON.",
  "status": "400"
}
```

用語の意味

keyStore

JSON文字列を含むJSONオブジェクト。keyStore内の各文字列は、クレデンシャルの一部を表します。各文字列の名前はクレデンシャルの一部を表し、対応するキー値には、そのクレデンシャルの一部の値がbase64形式で格納されます。定義された値は次のとおりです：

- base64 Encoded Data Schemaに準拠しています。文字列の長さに制限はありません。

文字列から文字列へのハッシュマッピング

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

クレデンシャルを削除する

DELETE /accounts/{account_id}/core/v1/credentials/{credential_id}

指定された認証情報APIリソースを削除します。

副作用

- 削除対象の認証情報が他のリソースやAPIで利用されている場合、削除によって他のAPIやシステム全体に予期せぬ副作用が生じる可能性があります。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
credential_id	string	path (パス)	True	リストする認証情報コレクションのID

応答

Status: 204, Indicates if the credential resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。